# ●梱包明細表

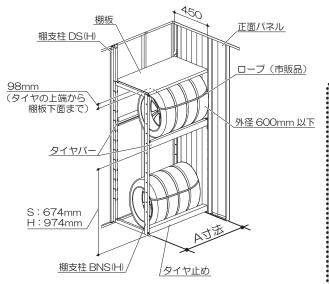
※( )内は、Hタイプ用を示す。

	引き込み式2枚戸用	引き分け戸用	壁面扉用	共通部材
壁2枚分	H9-3012	#H-3610  部 品 名 数 タイヤバー36用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバーフック 4 タイヤバーフック受板 1 M6ボルト 5 組立説明書(本紙) 1  #1-3671  部 品 名 数 棚板36 1 棚フック 4	HH-3810 部 品 名 数 タイヤバー38用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバー固定板 4 M6ボルト 4 組立説明書(本紙) 1 H1-3871 部 品 名 数 棚板38 1 棚フック 4	H9-2475(H9-2575)

	引き込み式2枚戸用	引き分け戸用	壁面扉用	共通部材
壁3枚分	H9-5012 部 品 名 数 タイヤバーO5用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバー固定板 4 M6ボルト 4 組立説明書(本紙) 1	HH-4010  部 品 名 数 タイヤバー40用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバー固定板 4 タイヤバーフック受板 1 M6ボルト 5 組立説明書(本紙) 1  H1-4071  部 品 名 数 棚板40 1 棚フック 4	HH-4110  部 品 名 数 タイヤバー41用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバー固定板 4 M6ボルト 4 組立説明書(本紙) 1  H1-4171  部 品 名 数 棚板41 1 棚フック 4	

	引き込み式2枚戸用	引き分け戸用	壁面扉用	共通部材
壁2.4枚分 / 奥行 \ (1530mm用/	HH-2310 部 品 名 数 タイヤバー23用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバー固定板 4 M6ボルト 4 組立説明書(本紙) 1 H1-2371 部 品 名 数 棚板23 1 棚フック 4	HH-0910     部 品 名 数 タイヤバーO9用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバーコック受板 1 タイヤバーフック受板 1 M 6 ボルト 5 組立説明書(本紙) 1  H1-0971 部 品 名 数 棚板O9 1 棚フック 4	HH-4710 部 品 名 数 タイヤバー47用 2 タイヤバーフック 4 タイヤバー固定板 4 M6ボルト 4 組立説明書(本紙) 1 H1-4771 部 品 名 数 棚板47 1 棚フック 4	H9-2475(H9-2575) 部 品 名 数 棚支柱DS(H) 1 M6ボルト 2 ネジ板B 1 H9-2975(H9-3075) 部 品 名 数 棚支柱BNS(H) 1 棚支柱CJ 2 M6ボルト 2 H2-0975 部 品 名 数 タイヤ止めL=760 1 H9-9275 部 品 名 数 棚支柱B補強 1

#### ●使用上の注意点



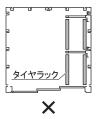
種類	型番		A寸法
引き込み式 2枚戸用	TTW	2S · H	760
		3S · H	1180
		2.4S · H	920
引き分け戸用	TFS	2S · H	796
		3S · H	1216
		2.4S · H	956
	TFK	2S · H	837
壁面扉用		3S · H	1257
		2.4S · H	997

- ① 外径が600mmより大きいタイヤは上段に載せられません。
- ② タイヤの幅合計がA寸法以下であることをご確認ください。
- ③ タイヤの合計重量が100kgを超える場合は載せられません。
- ④ 落下、転倒防止のため、必ず複数本のタイヤをロープ等 (市販品)で縛ってご使用ください。
- ⑤ バーや物置本体に大きな衝撃を与えないように収納して ください。
- ・⑥ タイヤ止めの長さはA寸法と異なります。

奥行1370mm用:760mm 奥行1530mm用:760mm 奥行1790mm用:1020mm

- ⑦ ガラス窓・小窓パネル・メッシュパネル・採光壁・別売棚セット が取り付いている箇所には取付できません。
- ⑧ タイヤが支柱BNS(H)側に倒れないよう、ホイール面を必ず 正面パネル側に向けて収納してください。ホイールの重みで タイヤが転倒・落下し、ケガをする恐れがあります。

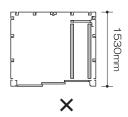
# ●取付位置の制限について



タイヤラックは連続して 取り付けできません。



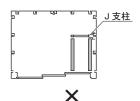
後面棚と交差させて取り付けできません。



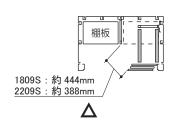
奥行K-3.4(1530mm)全長に 渡っての取り付けはできません。



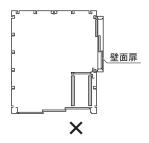
ワイド棚の隣に 取り付けできません。



A、E、F、J、K、U支柱の 横には取り付けできません。



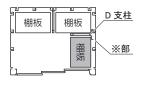
本体1809S、2209Sに取り付ける場合、標準棚板を取り外せば取付可能ですが、タイヤが収納しづらい (狭い)のでご注意ください。



壁面扉、框ドア、ガラス窓の横には取り付けできません。



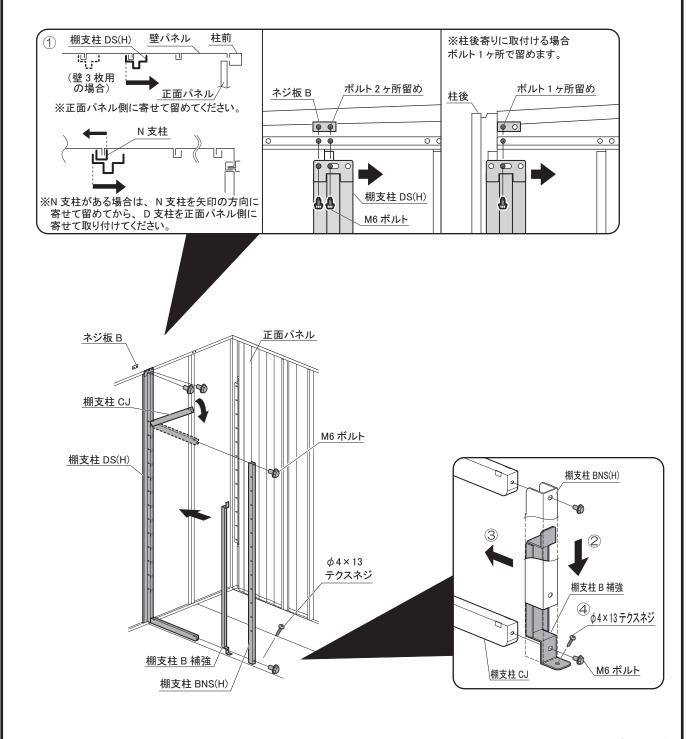
正面パネル裏にすでに棚板がついている 場合はタイヤラックを追加できません。



D支柱が取り付く箇所(※部)に小窓パネル・ メッシュパネル・採光壁・換気扇パネルが 取り付いている場合には取付できません。

### 1.棚支柱DS(H),CJ,BNS(H),B補強の取付

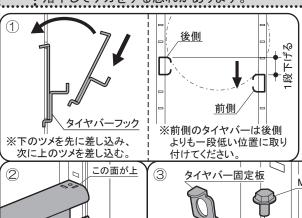
- ①棚支柱DS(H)を、正面パネル側から数えて壁パネル2枚目と3枚目の間のコの字部分にかぶせ、M6ボルトとネジ板Bで取り付けます(壁3枚用の場合は、壁パネル3枚目と4枚目の間のコの字部分にかぶせてください)。
- ※棚支柱DS(H)は、正面パネル側に寄せて留めてください。
- ※柱後寄りに取り付ける場合は、ボルト1ヶ所で留めます。
- ②棚支柱B補強を棚支柱BNS(H)に差し込みます。
- ※棚支柱B補強の向きに注意してください。
- ③棚支柱CJを棚支柱DS(H)の上下の角穴に差し込み、棚支柱BNS(H)、B補強、CJをM6ボルトで 共締めします。
- ④棚支柱B補強と床パネルを 64×13テクスネジで固定します。

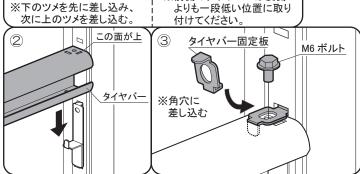


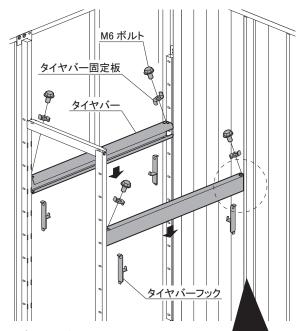
## 2.タイヤバーフック、タイヤバーフック受板、タイヤバー、 タイヤバー固定板の取付

- ①タイヤバーフックのツメを棚支柱·正面パネルの角穴に 取り付けます。
- ※前側は、後側よりも一段低い位置に取り付けてください。
- ②タイヤバーをタイヤバーフックにのせます。
- ※引き分け戸用タイヤラックTFS-2,2.4,3S(H)を取り付ける場合は、前側に取り付けるタイヤバーにタイヤバーフック受板を取り付けてからのせてください。
- ※タイヤバーは前後共通です。
- ※丸角穴があいている面が上面になります。
- ③タイヤバー固定板を差し込み、M6ボルトで固定します。

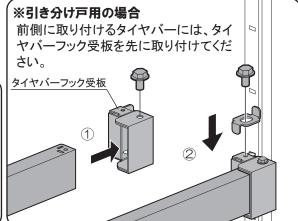
タイヤバーが落下しないよう、必ず手で押さえながら固定板を取り付けてください。タイヤバーが注意 落下してケガをする恐れがあります。







M6 ボルト=4 本 ※タイヤバーフック受板使用時 =5 本



#### 3.タイヤの収納、タイヤ止め、棚板の取付

①タイヤを収納します。

注意

- ① バーや物置本体に大きな衝撃を与えないように収納してください。
- ② ホイールのオモテ面を**必ず正面パネル** 側に向けて入れてください。ホイールの 重みでタイヤが転倒・落下し、ケガをす る恐れがあります。
- ③ 落下、転倒防止のため、必ず複数本の タイヤをロープ等(市販品)で縛ってご使 用ください。
- ②タイヤの位置に合わせ、タイヤ止めを 置きます。
- ③棚フックを棚支柱と正面パネルの角穴に 引っかけ、棚板をのせます。

